開設学科 制御情報工学科 対象 別時期 別時期 別時期 別時期 前期 別達目標 出江 幸重 別達目標 出江 幸重 別達目標 1. 情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。 2. 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。 1. 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。 1. 現境問題の現状を把握し、科学技術が期できる。 1. 現場問題の現状を把握し、科学技術が現できる。 1. 現場問題の現状を把握し、科学技 環境が期できる。 1. 環境問題の現状を把握し、科学技 環境が期できる。 1. 現場問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 1. 現場問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 1. 表別の事務を表慮して、技術者としてのことが関係を表別できる。 1. 表別の事務を表慮して、技術者としての中でしているでは、技術者としての中でして、大が一方法 1. 情報倫理、環境倫理について、グループで話し合いでは、持衛倫理、環境倫理について、グループに話し合い・ブループで話し合い・ブループで話し合い・ブループで話し合い・アループで記しるいでは、持衛の主を対して、表別の事務を持ついてして、グループで話し合い・アループで記しるいまでは、表別の事務を表によります。 1. 別の事務を表による。 1. 表別の現状を把握を表別の現状を把握を表に表に表して、表別の現状を把握を表して、表別の現状を把握を表別の現状を把握を表別の現状を提供を表出を表別の現状を指揮を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別を表別を表別の現状を表別を表別の現状を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を	の種別と単位学年間数 実教出版) できる。 いる信いの現で、 できるのでは、 ののでは、 のの	ブルの目安 未到達レベルの目安 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。		
科目番号 0213 料目 担接 単位 開設	の種別と単位学年間数 実教出版) できる。 いる信いの現で、 できるのでは、 ののでは、 のの	立数 履修単位: 1 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
接業形態 講義 単位 対象 制御情報工学科 対象 開設期 前期 週時 新期 週時 新期 週時 報刊 学生のためのキャリア形成と就職成功へのステップ 担当教員 出江 幸重 到達目標 1. 情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。 2. 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明 3. 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響 環境問題の現場を構造して、技術者としてのまかりを説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響 環境がか地球環境や社会に及ぼす影響 環境がか地球環境や社会に及ぼす影響 環境がかいます 1. 環境問題を考慮して、技術者としていていていていていていていていていていていていていていていていていた。 1. 情報倫理、環境倫理を中心に、技術者としていましいできる。 1. 実境倫理についてレイートにまとめる 1. グループワークには、積極的に参加すること。 1. 実題や提出物は、必ず期限を守ること。 1. 実題や提出物は、必ず期限を守ること。 1. 実題や提出物は、必ず期限を守ること。 1. 実題や提出物は、必ず期限を守ること。 1. 実題や接出物は、必ず期限を守ること。 1. 実題や接出物は、必ず期限を守ること。 1. 実題や接出物に、準備型との関わり(報告書作成) 3.週 方イダンス、キャリアデザイン3の概要 2.週 就職活動等の実際 1. 3.週 持報通信技術と倫理との関わり(報告書作成) 5.週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6.週 就職活動等の実際 3. 1.1週 対学技術が地球環境や社会に及ぼす影響 (章) 料学技術が地球環境や社会に及ぼす影響 (章) 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響 (章) 科学技術が地球環境や社会に及ばずないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	の種別と単位学年間数 実教出版) できる。 いる信いの現で、 できるのでは、 ののでは、 のの	立数 履修単位: 1 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2		
開設学科 制御情報工学科 対象 調時期 前期 適時 前期 適時 前期 適時 前期 適時 前期 適時 前期 適時 前期 到達目標 出江 幸重 到達目標 1. 情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。 2. 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響 環境がが地球環境や社会に及ぼす影響 環境がが地球環境や社会に及ぼす影響 環境がが地球環境や社会に及ぼす影響 環境がかりできる。 環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 環境問題を考慮して、技術者としているに対策を対象の進め方・方法 情報倫理、環境倫理を中心に、技術者としているでいている。 ・グループワークには、積極的に参加すること。 ・グループフークには、積極的に参加すること。 ・グループフーションは事前に準備し、自信の意見を・ブレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・ブレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・ブレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・ブルゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・ブルゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・ブルゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・ブルゼンテーションは事前に準備的に参加すること。 フループワークには、積極的に参加すること。 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際 1 1週 ガイダン病の現状把握 報告書作成) 9週 環境問題の現状把握 報告書作成) 9週 環境問題の現状把握 報告書作成) 1 1 2週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(集)】 1 2 週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(集)】 1 3 週 科学技術が地球環境や社会に及ぼするはないながないなどがないなどがないなどがないなどがないなどがないなどがないなどが	学年 間数 実教出版) で。 対値である。 か値ではあるのでは、 が値でいるのでは、 が値でいるのでは、 が値でいるのでは、 が値でいるのでは、 ができる。 は、 ができる。 ・ ができる。 ・ ができる。 ができる。 ・ ができる。 ・ ができる。 ・ ができる。 ・ がで。 ・ ・ がで。 ・ がで。 ・ がで。 ・ ・ がで。 ・ がで。 ・ がで。 ・ がで。 ・ ・ がで。 ・ がで。 ・ ・ がで。 ・ ・ がで。 ・ ・ ・ ・ ・ がで。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ブルの目安 未到達レベルの目安 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。		
期設期 前期 選時 対対 学生のためのキャリア形成と就職成功へのステップ 1 2 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	間数 実教出版) できる。 のな到達レベー では技術を では技術を ではいるの現状と信い 問題から、 問題から、 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	ブルの目安 未到達レベルの目安 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 場問題の現状と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を知らない。 環境問題を考慮して、技術者として、技術者としているさりしい行動とは何かを知らない。		
数科書/教材 学生のためのキャリア形成と就職成功へのステップで 当教員	実教出版) できる。 のな到達レベースをはいる。 できる。 のはは技術を開題の現状と倫では、 の現状とにいる。 できる。 できる。 のは、 の現状とにいる。 できる。 のは、 の現状とにいる。 のは、 の現状とにいる。 のは、 の現状とにいる。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のない。 のない。 のは、 のない。 のない。 のない。 のは、	 ベルの目安 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
田当教員 出江 幸重 別達目標	できる。 かな到達レベ通信技術と倫でいる。 問題の現状とはいるはでは会に及ぼった。 問題を考慮しい行動さる。 ア形成の基礎、発表する。	倫理との関わりを 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし ひとは何かを知っ ない。		
連目標	的な到達レベ 通信技術と倫 ている。 問題の現状と や社会に及ぼ。 問題を考慮し 問題を考慮し である。	無理との関わりを 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし でふさわしい行動とは何かを知っない。		
 情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明 表現問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 ア価項目1 理想的な到達レベルの目安 標準 情報通信技術と倫理との関わりを 説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技 術が地球環境や社会に及ぼす影響 を説明できる。 環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 環境問題を考慮して、技術者として、方がから説明できる。 学科の到達目標項目との関係 教育方法等 情報倫理,環境倫理を中心に、技術者としてのキャレできる。 情報倫理,環境倫理を中心に、技術者としてのキャレできる。 ・情報倫理,環境倫理についてレポートにまとめる・情報倫理,環境倫理についてレポートにまとめる・プループワークには、積極的に参加すること・・プレゼンテーションは事前に準備し、とき、決理が提出物は、必ず期限を守ること。・決理が提出物は、必ず期限を守ること。・決理が提出物は、必ず期限を守ること。・決理が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を書作成の表別を表別を表別を表別を書作成の表別を書作成の表別で表別を書作成の表別で表別を書作成の表別で表別を書作成の表別を書作成の表別を書作成の表別を書作成の表別で表別を書作成の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	的な到達レベ 通信技術と倫 ている。 問題の現状と や社会に及ぼ。 問題を考慮し 問題を考慮し である。	無理との関わりを 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし でふさわしい行動とは何かを知っない。		
 情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明 表現問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 ア価項目1 理想的な到達レベルの目安 標準 情報通信技術と倫理との関わりを 説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技 術が地球環境や社会に及ぼす影響 を説明できる。 環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。 環境問題を考慮して、技術者として、方がから説明できる。 学科の到達目標項目との関係 教育方法等 情報倫理,環境倫理を中心に、技術者としてのキャレできる。 情報倫理,環境倫理を中心に、技術者としてのキャレできる。 ・情報倫理,環境倫理についてレポートにまとめる・情報倫理,環境倫理についてレポートにまとめる・プループワークには、積極的に参加すること・・プレゼンテーションは事前に準備し、とき、決理が提出物は、必ず期限を守ること。・決理が提出物は、必ず期限を守ること。・決理が提出物は、必ず期限を守ること。・決理が表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を書作成の表別を表別を表別を表別を書作成の表別を書作成の表別で表別を書作成の表別で表別を書作成の表別で表別を書作成の表別を書作成の表別を書作成の表別を書作成の表別で表別を書作成の表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	的な到達レベ 通信技術と倫 ている。 問題の現状と や社会に及ぼ。 問題を考慮し 問題を考慮し である。	無理との関わりを 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし でふさわしい行動とは何かを知っない。		
理想的な到達レベルの目安 標準 情報通信技術と倫理との関わりを 説明できる。	的な到達レベ 通信技術と倫 ている。 問題の現状と や社会に及ぼ。 問題を考慮し 問題を考慮し である。	倫理との関わりを 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球球 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし でふさわしい行動とは何かを知っない。		
理想的な到達レベルの目安 標準 情報通信技術と倫理との関わりを 説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技 添が地球環境や社会に及ぼす影響 環境問題を考慮して、技術者とし てふさわしい行動とは何かを説明 できる。 である。 できる。 である。 では、 できる。 では、 では、 では、 では、 では、 できる。 では、	通信技術と倫 ている。 問題の現状と や社会に及ぼ。 問題を考慮し ささわしい行動 る。 ア形成の基礎 、発表する。	倫理との関わりを 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球球 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし でふさわしい行動とは何かを知っない。		
平価項目1 情報通信技術と倫理との関わりを 説明できる。 環境問題の現状を把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響 表説明できる。 環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明 できる。 でいているできる。 でいているできる。 では、 できる。 では、 では、 できる。 では、 できる。 では、 できる。 では、 できる。 では、 では、 できる。 では、 では、 では、 できる。 では、 では、 では、 できる。 では、 では、 では、 できる。 では、	通信技術と倫 ている。 問題の現状と や社会に及ぼ。 問題を考慮し ささわしい行動 る。 ア形成の基礎 、発表する。	倫理との関わりを 情報通信技術と倫理との関わりを 知らない。 と科学技術が地球 境問題の現状と科学技術が地球 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし ひとは何かを知っ ない。		
平価項目2	や社会に及ぼ 問題を考慮し さわしい行動 る。 ア形成の基礎 、発表する。	ます影響を知って 境や社会に及ぼす影響を知らない。 して、技術者とし 環境問題を考慮して、技術者とし 動とは何かを知っ ない。 でなさわしい行動とは何かを知っない。 遊を学ぶ。		
平価項目3	さわしい行動 る。 ア形成の基礎 、発表する。	動とは何かを知っ		
学科の到達目標項目との関係 教育方法等 概要 情報倫理,環境倫理を中心に、技術者としてのキャリで で業の進め方・方法 情報倫理,環境倫理について、グループで話し合いで ・情報倫理,環境倫理についてレボートにまとめる・情報倫理,環境倫理についてレボートにまとめる・でグループワークには、積極的に参加すること。・プレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。 で受業計画 週 授業内容 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際 1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 環境問題の現状把握(報告書作成 3週 環境問題の現状把握(報告書作成 3週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成 3 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 電力を表記した技術者としてふさわしい 電力を表記した技術者としてふさわしい 電力を表記した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい	ア形成の基礎、発表する。	逆を学ぶ。		
教育方法等 既要 情報倫理,環境倫理を中心に、技術者としてのキャリで諸し合い。情報倫理,環境倫理について、グループで話し合い。情報倫理,環境倫理についてレボートにまとめる・ブループワークには、積極的に参加すること。・プレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。 受業計画 週 授業内容 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際 1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 電境問題を考慮した技術者としてふさわしい 電境問題を考慮した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 電費問題を考慮した技術者としてふさわしい	、発表する。	-		
機要 情報倫理,環境倫理を中心に、技術者としてのキャリー では、情報倫理,環境倫理について,グループで話し合い・情報倫理,環境倫理についてレポートにまとめる・ブループワークには、積極的に参加すること。・ブレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。・ブレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。 受業計画 週 授業内容 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 10週 就職活動等の実際 3 11週 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 2ndQ 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい	、発表する。	-		
・情報倫理,環境倫理について,グループで話し合い。情報倫理,環境倫理についてレポートにまとめる。 ・グループワークには、積極的に参加すること。 ・ブレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。 ・ブレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。	、発表する。	-		
・情報倫理,環境倫理についてレボートにまとめる ・グループワークには、積極的に参加すること。・プレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。 受業計画 週 授業内容 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際 1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 対学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい				
・ 「情報倫理」、環境倫理に Jいてレバートにまとめる ・ グループワークには、積極的に参加すること。 ・ プレビンテーションは事前に準備し、自信の意見を ・ 課題や提出物は、必ず期限を守ること。 受業計画	しっかり発表			
・プレゼンテーションは事前に準備し、自信の意見を・課題や提出物は、必ず期限を守ること。 受業計画 週 授業内容 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 6週 就職活動等の実際2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際3 11週 対学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成)	しっかり発表			
週 授業内容 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 1stQ 4週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際3 11週 対学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい		表すること。		
週 授業内容 1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 1stQ 4週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際3 11週 10週 就職活動等の実際3 11週 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 5書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 5世代の 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 15週 14週 15週 15週				
1週 ガイダンス、キャリアデザイン3の概要 2週 就職活動等の実際1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 4週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際3 11週 対学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい	1	週ごとの到達目標		
2週 就職活動等の実際 1 3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作品 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作品 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 対学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい		キャリアデザイン3で学ぶことを説明できる		
3週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 4週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成 5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 対職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成)				
1stQ 4週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書作成5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出6週 就職活動等の実際2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成)8週 環境問題の現状把握(報告書作成)9週 環境問題の現状把握(報告書提出)10週 就職活動等の実際3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)2ndQ 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい				
5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成)		情報通信技術と倫理との関わりについて報告書を作り		
5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成)	-	できる。		
5週 情報通信技術と倫理との関わり(報告書提出 6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成)		情報通信技術と倫理との関わりについて報告書を作		
6週 就職活動等の実際 2 7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい告書作成) 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい		できる。		
7週 環境問題の現状把握(報告書作成) 8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい告書作成) 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい	i) 1	作成した報告書について説明できる。		
8週 環境問題の現状把握(報告書作成) 9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい告書作成) 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい				
9週 環境問題の現状把握(報告書提出) 10週 就職活動等の実際 3 11週 対学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) は週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい	Ŧ	環境問題の現状把握について報告書を作成できる。		
10週 就職活動等の実際 3 11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 2ndQ 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 15週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい	Ŧ	環境問題の現状把握について報告書を作成できる。		
10週 就職活動等の実際 3	1	作成した報告書について説明できる。		
11週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 12週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい				
2ndQ 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)) 14週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成)				
2ndQ 13週) 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸)		斗学技術が地球環境や社会に及ぼす影響について報台 書を作成できる。		
2ndQ 13週 科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響(幸) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書作成) 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい	生事作出			
13週)	记音TFIX	作成した報告書について説明できる。		
13週)	告書提出			
	1 (行動 (報) 5	作成した報告書について説明できる。 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい行動につ		
		いて報告書を作成できる。。 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい行動(報告書作成)		
16週 環境問題を考慮した技術者としてふさわしい 告書提出)		環境問題を考慮した技術者としてふさわしい行動に いて説明できる。		
Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
		到達レベル 授業週		
立庇性紀泽(ラットロ		カルナスはお客にお供した四		
技術者倫理 技術者倫理 同気情報過信不りドラー との関わりを説明できる (知的財産、 (知的財産、	新行動(報 · I			
(知り別度、 (知り別度、 一)	が行動(報 」	※にめる情報通信技術と無理 3		
^{劉徳の能力} 土土全曜 持続可能性 持続可能性 術が地球環境や社会に及	が行動(報 ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	事項について知場に、利学は		
を含む)およ を含む)およ 四倍間頭を予慮して、は	が行動(報 ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! ! !	3		
び技術史 び技術史 「現場问題を考慮して、及明できる。	が行動(報)は が行動(報)は ク社会の中移 の基本的な事 ぼす影響を訪	事項について把握し、科学技 説明できる。 前2,前1		
	が行動(報)は が行動(報)は ク社会の中移 の基本的な事 ぼす影響を訪	3		
	が行動(報)は が行動(報)は ク社会の中移 の基本的な事 ぼす影響を訪	事項について把握し、科学技 説明できる。		
発表相互評価	ク社会の中核。 の基本的な事 ぼす影響を訪 術者としてふ	事項について把握し、科学技 3 前2,前1: 説明できる。 ふさわしい行動とは何かを説 3 前2		
合評価割合 0 0	ク社会の中核。 の基本的な事 ぼす影響を訪 術者としてぶ	事項について把握し、科学技 3 前2,前1: 説明できる。 ふさわしい行動とは何かを説 3 前2		
F礎的能力 0 0	が 行動(報 が ク社会の中移 の基本的な事 ぼす影響を訪 術者としてな	事項について把握し、科学技 3 前2,前13 説のさわしい行動とは何かを説 3 前2 ートフォリオ 合計 00 100		
評門的能力 0 0 0	ク社会の中核。 の基本的な事 ぼす影響を訪 術者としてぶ	事項について把握し、科学技 3 前2,前13 説明できる。 ふさわしい行動とは何かを説 3 前2		

分野横断的能力	n	0	100	100
ノンエバリ央ロバロンけらノン	U	U	100	100